

# ISO9001の15年版取得 他社との差別化を図る

## 東和工業

建築用フラスナーメーカーの東和工業（本社・大阪府堺市、社長・中谷成智氏）は先月17日、品質管理や製造に関するISO9000

12015を取得した。

同社の工場（堺市）のISO9001の初年度登録は2004年7月2日で、更新前に切替審査を受けて移行した。中谷社長は「ISO取得は目的ではなく手段」という。今後、システムなど早期運用の利点を生かして競合他社との差別化を図るとともに、より一



15年版へ移行完了した東和工業の工場

015年版ISOの勉強会を重ね、内部品質監査員のスキルアップを図りながら、新たな要求事項の「リスクと機会」などをシステムに組み込んだ。中山製鋼所や

層の合理化を進め顧客満足度の向上を徹底する方針だ。加えて、同社は国産メーカーとしての信用力をより一層向上させることで、安価な輸入品に流れる購買の国内回帰を目指す。またISOで足りない部分はJIS認証の取得も検討している。

JFEスチールなどの国内製鋼メーカーとの連携による自社の伸線技術で、材料から製品の一貫生産が可能な同工場の主要設備は、ナットホーム11台、パターホーム2台、ねじ切り機30台、伸線機2台、酸洗処理槽一式など。建築用の六角ナットなどの冷間ホームナットを中心に製造・販売している。生産量は月産約500トンだ。

## 大阪協特殊鋼が優勝

全日本特殊鋼流通協会大阪支部は、5日にボウリング決勝大会を大阪市北区の桜橋ホテルで開催した。個人戦も含め16社、39人が参加した。写真。団体戦では、三和特殊鋼材が優勝し、南海鋼材が準優勝となった。この2社は10月7日に桜橋ホテルで開催される全国大会に出場する。個人戦では3チーム合計606点で、南海鋼材の藤井信廣氏が優勝した。参加チームを東西南北に分けたブルック戦では、東プロ

